

仙台市  
 平成29年 新年号  
**農業委員会だより**

発行日 平成29年1月1日

編集と発行 仙台市農業委員会  
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号  
 TEL 022(214)4308(直通)



謹賀新年

仙台市農業委員一同

新しい年

明るい未来へ前進!

青葉区の新国貴弘さん、直樹さん兄弟は、昨年、父善彦さん、母詔子さんと家族経営協定を結んだことをきっかけに、農業者年金に新規加入しました。

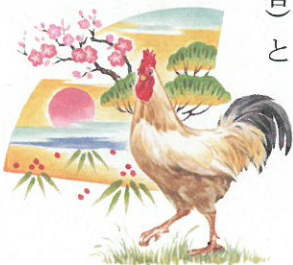
新国さんご一家は、認定農業者である善彦さんを経営主に、酪農を営んでいます。貴弘さんと直樹さんお二人の後継者がいることもあり、規模拡大のために法人化を考えてきました。

今回、仙台農業改良普及センターの助言により、法人化の目標を「協定」という形の文書にしたことで、今後の経営の課題がはつきりし、将来を見据えた貴弘さん、直樹さんの年金加入につながりました。

直樹さんは昨年11月に結婚したばかりで、牛が大好きな新しい家族の杏子さんのためにも、家族経営協定を見直す予定です。

◆家族経営協定◆

農業の経営方針や役割分担、就業環境などについて、家族で話し合いながら取り決め、文書としたものです。認定農業者（青色申告者）と家族経営協定を結んだ配偶者や後継者には、農業者年金の政策支援（保険料の国庫補助）があります。



あけましておめでとーっげんます



仙台市農業委員会  
会長 佐々木 均

皆様方には日ごろより当委員会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

昨年4月に新しい農業委員会法が施行され、農業委員の役割として、今まで以上に農地利用の最適化にかかわっていくことが求められるようになりました。また、平成30年の米の生産数量目標配分廃止や全農等改革の提言など、「攻めの農業」の一環としてここ数年さまざまな改革が進められようとしています。

これら急激な農政改革は、T P P対策のために必要であるとされてきました。ただ、ここに来てT P Pを推進してきたアメリカの動きが不透明なのに、自由貿易確保という美名のもと、改変を推し進める国の動きには疑問を感じざるを得ません。

昨今、大雨など自然災害による被害が甚大化しているのも、地域を支えていた農林水産業が衰退し、

農地や山林が疲弊しているためとも言われています。地域特有の食生活や文化も、豊かな実りがあったこそ成り立つもので、都市化が進む仙台市でも、農業こそが地域産業と言えるのではないのでしょうか。

震災から6年目を迎え、建物等の復興は進みましたが、販路や産業基盤が回復してこそその真の復興と言えます。

われわれ農業委員会としても、農業者が経済活動として農業を続けていく、というあたりまえのことを実現できるように、皆様の意見要望等を国や県、市の政策に反映させていくことはもとより、一層の農地利用最適化を進めるべく活動してまいります。

今後とも与えられた任務遂行のため全力を尽くすことをお誓いし、年頭のごあいさつとさせていただきます。

農地中間管理機構を利用して農地を貸しませんか



- ◆ 公的機関が間に入るの安心
- ◆ 期間満了で農地が戻ります

お問い合わせは  
農業委員会事務局  
事務課農地係  
電話 214-4340

女性農業者のための  
機械講習会を開催しました



11月1日(火)に「女性農業者のための機械講習会」を(株)宮城ヤマー商会の協力をいただき、泉区のJA仙台松森育苗センターで開催しました。

当日は曇りで寒い中、女性農業者20名に参加いただきました。開会のあいさつの後、使用前後の点検や安全確認など、トラクターの安全使用についてのポイント等農作業安全講習について教えていただきました。最新のトラクター、ミニ耕うん機、管理機の操作説明を受け、女性農業者全員で試乗・実演を行いました。

初めての方が多く遠慮がちでしたが、試乗したり操作したりし始めると面白くなり、機械を変えて

乗った方も多く見られました。操作が思ったより楽という話も聞かえて来ました。お昼は、希望者でランチをいただきながら交流会を行いました。

年一回ですが、今後も講習会を行っていきますので、女性農業者の方の多くの参加をお待ちしています。

複式簿記講習会を開催しました

12月1日(木)、2日(金)の二日間にわたり、HS経営コンサルティン グ(株)代表取締役本田茂氏を講師に、JA仙台本店において複式簿記講習会を開催しました。

「らくらく仕分けのポイント」を学んだあと、「決算書の見方」まで、わかりやすく教えていただきました。



市内全域で農地パトロールを行いました

11月2日から28日にかけて、農地法で定められている農地利用状況調査の一環として、農地パトロールを行いました。

農協の各支店ごとに、農業委員と業務推進員が地区をくまなく回り、遊休農地の状況や違反転用がされていないかなどの調査を行いました。

今回の調査結果をもとに、耕作が可能と思われる遊休農地については、所有者の方に利用意向調査を行うほか、農地台帳を整理し、適正な農地利用に向けて対応していきます。

また、12月2日には、農地部会全域現地調査を行いました。これは、農地法第5条の許可を受けた



土地が、計画どおり利用されているか等の確認を行うものです。今回は、青葉区の太陽光パネル設置や太白区の家具工房など、比較的面積の大きな7か所10件を調査しました。

現地調査の結果、適正に利用されていることが確認できました。

経営改善研修会を開催しました

10月28日(金)、市役所8階ホールにおいて、農事組合法人カミックス(加美町下新田地区)代表理事近田樹氏の講演会を開催しました。カミックスは、水田地帯にあり、全地域が法人に参加し、大豆などの転作作業を中心に営農活動を行っています。

近田氏は、結成当初から法人を

まとめており、子どもたちを中心にまちづくりの話し合いをしたことがきっかけで、法人を立ち上げたこと、個人の豊かさではなく地域が豊かになることを目標としていること、など大変興味深いお話をお伺いすることができました。女性を大切にすることが、法人の円滑な運営には重要だそうです。

このほか、みやぎ農業振興公社の地域コーディネーターの方から、農地中間管理制度について、情報提供をいただきました。

参加した皆さんからは、地域が元気になる話を聞いて大変参考になった、と好評でした。



仙台市収穫まつりに参加しました

11月12日(土)、13日(日)、農業園芸センターで開催された「収穫まつ



り」に参加し、市民との交流活動を行いました。牛乳の試飲コーナーのほか、農業委員会の活動を紹介するパネル展示、相談コーナーを設け、委員会に関するアンケート調査を行いました。

アンケート結果では、一般市民の方が多く参加していたこともあり、農業委員会の業務についてほとんど知られていないことがわかりました。

今後も様々な機会をとらえて、広報活動を充実させていきます。

平成29年農作業標準料金等の設定について

広報紙J Aせんだい2017年3月号に折り込んで配布します。

また仙台市ホームページ(<http://www.city.sendai.jp/shinko/jigyosha/keza/norin/nogyo/sendaisai/index.html>)に掲載します。

# あなたの出番です

若林区下飯田にお住まいの

おしま じゅんこ  
**小島 純子**さん

にお話しを伺いました。



**Q** 農家の生まれですか？

**A** 普通のサラリーマンの家庭で育ちました。

**Q** 農家に嫁いでいかがでしたか？

**A** 農家としての生活を全く知らなかったのですが、簡単な気持ちでお嫁に来ましたが、サラリーマン家庭との違いに戸惑いました。

**Q** どのような点が違いましたか？

**A** 朝が早いことと、地区のつながりが深いことです。ただそのおかげで、皆様に温かく接していただき、早くに解け込むこと

ができました。また、敷地がとても広い！、そして採れたての新鮮な野菜のおいしさに驚きました。

**Q** どのような農作業をしているんですか？

**A** 福島県の白河高原農場が運営している地元の養液栽培のトマトハウスで、パートリーダーとして働いています。時には土木作業もして、栽培環境を改善しています。

いろいろな仕事を任せてもらっているのですが、いもありませんし、病害虫なども判断できるようになってきました。

また、直売所で接客販売も行っていましたが、常連のお客様が待っていてくれたり、トマトの調理方法を教えていただいたり、お客様との触れ合いが楽しいです。

**Q** あなたの楽しみは？

**A** 年に何回か、東京の大学に進学した娘に会いに行つてご飯を食べたり、街中をぶらぶら歩いたりすることです。

また、一緒に働いている方々との休憩時間のおしゃべりが、良い息抜きになっています。

(聞き手…菊地守委員)

# がんばっています

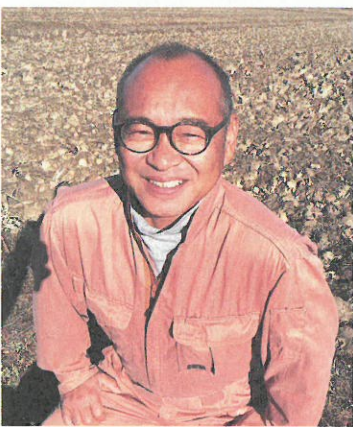
青葉区芋沢

いわさ ひろゆき  
**岩佐 博幸**さん

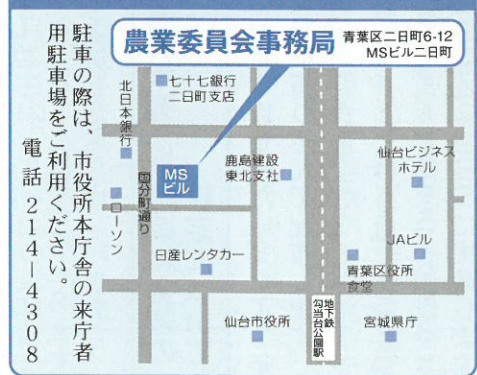
平成26年に、宮城県農業研修を経て新規就農しました。自宅は若林区ですが、縁あって芋沢苦地に1.2町歩の水田を借り、イノシシやサルと格闘しながら、岩佐有機農園を営んでいます。地権者や地域の方々の協力を得ながら、ひとめぼれやササニシキなどを作付けしています。

就農に当たっては、宮城野区岡田で有機栽培を行っている鈴木有機農園の農法や理念、哲学を参考にさせてもらっています。

苦地地区は黒ボク土が多く、水稲にはリン酸が足りないのですが、乳酸菌や酵母菌などから作った手作りボカシと堆肥を散布して土壌の発酵度を高め、植物自身が過



## 農業委員会事務局 案内図



不足なく健康で健全な成長ができるような環境作りを行っています。感動がある美味しさと、食べる方の健康を第一に考えての農業です。このような素晴らしい自然環境で農業を行えること、何よりも地域の方々の心遣いには感謝しかありません。

(担当…峯岸義信委員)

## 編集後記

新年おめでとうございます。昨年はお前線や台風の影響を繰り返し受け記録的な多雨となり、農業被害も多くありました。今年はお前線や台風の影響を繰り返し受け記録的な多雨となり、農業被害も多くありました。今年はお前線や台風の影響を繰り返し受け記録的な多雨となり、農業被害も多くありました。今年はお前線や台風の影響を繰り返し受け記録的な多雨となり、農業被害も多くありました。

(副編集委員長 梅田元雄)